

# 2 歳 児

期	I 期 (4月～5月)	II 期 (6月～8月)	III 期 (9月～10月)	IV 期 (11月～12月)	V 期 (1月～3月)
育てたい子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>園での生活や保育者に慣れ、安心して過ごす。</li> <li>体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者に思いを受け止め、生活や遊びへの意欲を持つようになる。</li> <li>砂や水を使って、全身を使う活動を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こだわりや自己主張をしながら、安心して生活したり遊んだりする。</li> <li>保育者と一緒に、全身を使う活動を十分楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのことを自分でできるようという気持ちを持つようになる。</li> <li>生活に必要な言葉が分かるようになり、要求や欲求を言葉で表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進級に期待感を持ち、励まされて意欲的に活動しようとする。</li> <li>保育者や友達とかかわり、簡単なごっこ遊びや言葉のやり取りを楽しむ。</li> </ul>
生命の保持と情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の子どもの健康及び発達を把握し、生理的欲求を満たす。</li> <li>担当する保育者が子どもの不安や欲求を受け止め、安心して過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季の保健衛生や健康状態に気を配り、水分補給や休息など活動のバランスに配慮する。</li> <li>一人一人の子どもの思いや気持ちを受け止め、安心して自己主張ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>残暑による疲れ・心身の状態を把握し、水分や休息を十分に取れるようにする。</li> <li>一人一人の子どもの心の動きや成長を受け止め、自分でしようとする気持ちを育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気温の変化に応じて衣服を調節し、薄着で過ごせるようにする。</li> <li>一人一人の子どもの思いを受け止め、自分の気持ちを簡単な言葉で表せるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の子どもの手洗いうがいを見守り、正しい習慣が身に付くようにする。</li> <li>子どもの感情を受け止め、気持ちを立て直そうとする力を育てる。</li> </ul>
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 新しい環境や保育者に慣れ、身近な大人や友達に親しみの気持ちを持つ。</li> <li>◎ 保育者に見守られながら、自分のしたい遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 身の回りのことに興味や関心をもち、自分でしようとする気持ちを持つ。</li> <li>◎ 全身を使う遊びを通して、心も体も開放して楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 戸外で歩く・走る・跳ぶなど基本的な体の動きを楽しむ。</li> <li>◎ 保育者を仲立ちとして、友達とかかわって遊ぶ楽しさを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 身近な自然や季節の事象に触れたり、様々な行事を経験したりすることを楽しむ。</li> <li>◎ 戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 保育者や友達と一緒に、ごっこ遊びや簡単なルールのある遊びを楽しむ。</li> <li>◎ 進級することを喜ぶ。</li> </ul>
健康な体をつくる力	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者に援助され、自分で衣服や靴の着脱をしようとする。</li> <li>友達と一緒に給食を食べる。</li> <li>春の自然に触れながら、戸外で体を十分に動かして遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見守られたり手伝ってもらったりしながら、衣服の着脱を自分でしようとする。</li> <li>手を洗う・鼻を拭く・口の周りを拭くなど、保育者に手伝ってもらいながら少しずつ自分でしようとする。</li> <li>促されてトイレに行き、保育者に見守られて排泄をする。</li> <li>夏野菜を見たり触れたりすることで、食材に興味を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>尿意や便意を伝え、見守られながら排泄しようとする。</li> <li>自分で簡単な衣服を着脱しようとする。</li> <li>走る・跳ぶ・押す・引く張るなど全身を使って遊ぶ。</li> <li>口の周りを拭いたり食器を片付けたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>尿意・便意が分かり、自分からトイレに行き排泄しようとする。</li> <li>手洗いうがい・衣服の着脱など、身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>寒さに負けず、体を動かして遊ぶ。</li> <li>様々な食べべ物に慣れ、喜んで食べようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>尿意・便意が分かり、自分からトイレに行き排泄しようとする。</li> <li>手洗いうがい・衣服の着脱など、身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>寒さに負けず、体を動かして遊ぶ。</li> <li>様々な食べべ物に慣れ、喜んで食べようとする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や友達との安定したかかわりの中で、安心して過ごす。</li> <li>声をかけられたり遊びに誘われたりしながら、異年齢の子とも親しみを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者に気持ちを受け止め、少しづつ友達とのかかわりを持つようになる。</li> <li>見立て遊び・つもり遊びなど、保育者と一緒に模倣をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活や遊びの中で、順番や待つなどのまじりがあることを知る。</li> <li>保育者を仲立ちとして、共同の遊具や玩具を使って遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や友達とかかわりながら、戸外で全身を使った遊びをする。</li> <li>友達とかかわりの中で、保育者を仲立ちとして相手の思いを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>追いかけてごっこ・簡単な鬼ごっこなどで、保育者や友達とかかわりながら遊ぶ。</li> <li>保育者や気の合う友達と一緒に、簡単なごっこ遊びや伝承遊びをする。</li> </ul>
環境や身近な環境にかかわる力	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生活の場や持ち物の場所を知る。</li> <li>新しい生活の場や人に慣れ、好きな遊具や玩具で遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の物・人の物の区別に気付くようになる。</li> <li>砂・土・泥・水に触れて遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸外で遊び、夏から秋にかけての自然に触れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋から冬にかけての季節の移り変わりを感じ、自然に触れて遊ぶ。</li> <li>簡単な手伝いを喜んでしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水・霜・水の冷たさなど、冬の自然に興味や関心を持ち、見たり触れたりする。</li> <li>身の回りの物の色・形に、興味を持ったり違いに気付いたりする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や友達の名前を覚えて呼ぼうとする。</li> <li>保育者に絵本や紙芝居を読んでもらい喜ぶ。</li> <li>生活に必要な言葉を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>したいこと・して欲しいことを言葉や仕草で伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見立て遊びやつもり遊びをして、言葉のやりとりをする。</li> <li>好きな絵本を見たり、簡単な言葉を真似たりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に必要な言葉が分かり、様々なことに関心を示す。</li> <li>季節の歌に合わせてリズムカルに体を動かす。</li> <li>保育者に見守られながら、のり・はさみ・クレヨンなどを使って表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に必要な言葉が聞き分け、様々なでぎごこに関心を示し言葉で表す。</li> <li>思ったことや感じたことを身振りや手振りを交えながら、言葉で伝えようとする。</li> </ul>
言葉の思いを伝える力	<ul style="list-style-type: none"> <li>知っている歌を歌ったり、保育者と一緒に手遊びをしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな歌を歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりする。</li> <li>様々な素材に触れ、遊んだり描いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽やリズムに合わせて、体の様々な部分を動かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節の歌に合わせてリズムカルに体を動かす。</li> <li>保育者に見守られながら、のり・はさみ・クレヨンなどを使って表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物や動物物など好きなものになって、保育者や友達と一緒に遊んだり動いたりする。</li> <li>のり・はさみ・クレヨンなどの材料や用具を使い、自分なりに表現する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが安定するように担当制で保育する。</li> <li>遊びや興味・関心などを把握しながら一緒に遊んだり、子どもたちの動線・物の配置などを考慮して環境構成をしたたりする。</li> <li>子どもが楽しみながら、全身や手指を使えるような遊びを取り入れる。</li> <li>不安定な気持ちを受け止めながら、少しずつ新しい環境に慣れるようにする。</li> <li>危険な場所に行かないことや、してはいけないことが分かるように、繰り返し知らせる。</li> <li>清潔の習慣や衣服の着脱などは、保育者が一緒にいかかわり丁寧に伝える。</li> <li>保育者も親しみをもち、習慣になるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏の衛生管理に十分留意する。</li> <li>自然や身近な事物と十分に触れ合えるように、安全や衛生面に留意する。</li> <li>適切に水分補給を促すように促す。</li> <li>子どもがゆったりとした気持ちで排泄できるように、丁寧に配慮する。</li> <li>保育者が仲立ちとなり、気持ちを汲み取って言葉で伝えたり見守ったりして、相手の思いに気付けるようにしていく。</li> <li>子ども自ら自然や小動物にかかわろうとする気持ちや愛情を持っていかかわる。</li> <li>伝えることが楽しいと思えるように、子どもの言葉やしぐさを優しく受け止める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の話をゆったりと聞き、子どもが自分の思いを伝えられる雰囲気や時間を作る。</li> <li>自然に触れ、保育者と一緒に見たりかかわったりできる場を用意する。</li> <li>思いを言葉でうまく表現できないときには、その気持ちや身振りを受け止め、伝えたいことを代弁する。</li> <li>子どものつぶやきや仕草などに共感しながら、表現する喜びが味わえるようにする。</li> <li>身の回りのことを自分でやろうとする気持ちを大切に、ゆとりを持って見守りながら意欲へつなぐ。</li> <li>一人一人の思いを受け入れながら、よいことよくないことを言葉で伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の話をゆったりと聞き、子どもが自分の思いを伝えられる雰囲気や時間を作る。</li> <li>自然に触れ、保育者と一緒に見たりかかわったりできる場を用意する。</li> <li>思いを言葉でうまく表現できないときには、その気持ちや身振りを受け止め、伝えたいことを代弁する。</li> <li>子どものつぶやきや仕草などに共感しながら、表現する喜びが味わえるようにする。</li> <li>身の回りのことを自分でやろうとする気持ちを大切に、ゆとりを持って見守りながら意欲へつなぐ。</li> <li>一人一人の思いを受け入れながら、よいことよくないことを言葉で伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 感染症が流行する季節なので予防に努め、温度・湿度・換気などに留意する。</li> <li>☆ ごっこ遊びがじつじつと楽しくなるように、コーナーの作り方を工夫する。</li> <li>☆ 子ども同士がかかわりやすくなるように、つもり遊びやごっこ遊びに保育者も加わったり、子どものイメージに合った小道具を用意したりする。</li> <li>☆ 進級に期待感を持ち安心して進級できるように、3歳児クラスに行き交流の場を持つようにする。</li> <li>○ 一人一人の発達を丁寧に捉え、必要に応じて手助けをし、自分でしようとする気持ちを育てる。</li> <li>○ 「なぜ」「どうして」などの子どもの疑問に対して、丁寧に答えたり一緒に考えたりしながら、身の回りのことやものへの興味・関心につなげるようにする。</li> </ul>
表現豊かに表現する力	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが安定するように担当制で保育する。</li> <li>遊びや興味・関心などを把握しながら一緒に遊んだり、子どもたちの動線・物の配置などを考慮して環境構成をしたたりする。</li> <li>子どもが楽しみながら、全身や手指を使えるような遊びを取り入れる。</li> <li>不安定な気持ちを受け止めながら、少しずつ新しい環境に慣れるようにする。</li> <li>危険な場所に行かないことや、してはいけないことが分かるように、繰り返し知らせる。</li> <li>清潔の習慣や衣服の着脱などは、保育者が一緒にいかかわり丁寧に伝える。</li> <li>保育者も親しみをもち、習慣になるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな歌を歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりする。</li> <li>様々な素材に触れ、遊んだり描いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽やリズムに合わせて、体の様々な部分を動かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節の歌に合わせてリズムカルに体を動かす。</li> <li>保育者に見守られながら、のり・はさみ・クレヨンなどを使って表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物や動物物など好きなものになって、保育者や友達と一緒に遊んだり動いたりする。</li> <li>のり・はさみ・クレヨンなどの材料や用具を使い、自分なりに表現する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 環境構成</li> <li>○ 保育者の援助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>七夏の集い プール開き 夏祭り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>祖父母交流 運動会 遠足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋祭り お楽しみ会(クリスマス会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 感染症が流行する季節なので予防に努め、温度・湿度・換気などに留意する。</li> <li>☆ ごっこ遊びがじつじつと楽しくなるように、コーナーの作り方を工夫する。</li> <li>☆ 子ども同士がかかわりやすくなるように、つもり遊びやごっこ遊びに保育者も加わったり、子どものイメージに合った小道具を用意したりする。</li> <li>☆ 進級に期待感を持ち安心して進級できるように、3歳児クラスに行き交流の場を持つようにする。</li> <li>○ 一人一人の発達を丁寧に捉え、必要に応じて手助けをし、自分でしようとする気持ちを育てる。</li> <li>○ 「なぜ」「どうして」などの子どもの疑問に対して、丁寧に答えたり一緒に考えたりしながら、身の回りのことやものへの興味・関心につなげるようにする。</li> </ul>
行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>入所(園)式 進級式 終業式 内科・眼科</li> <li>【年間】学期始業式 誕生会 発育測定 清潔検査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>七夏の集い プール開き 夏祭り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>祖父母交流 運動会 遠足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋祭り お楽しみ会(クリスマス会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新年の集い 節分の集い 生活発表会 ひな祭り会 お別れ会 お別れ遠足</li> </ul>
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭での子どもたちの生活リズムを把握する。</li> <li>自我が芽生え何でも自分でやりたがるが、うまくいかず失敗することも多い時期だということを知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>やりたいたいという気持ちを認め、次への意欲が育つように、温かく見守っていくことが大切であることを伝える。</li> <li>水遊びの準備・健康カード・自分で着脱しやすい服の補充を依頼する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>着替えを多めに用意してもらう。</li> <li>自己主張が順調な発達の道筋であることを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>薄着の大切さを知らせ、気温や活動に応じて調節しやすい衣服の用意をしてもらう。</li> <li>上靴の準備を依頼する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態・発症の情報や速やかに伝え合い、感染症の予防や対応について共通理解を図る。</li> <li>一人一人の子どもの成長した姿を伝え合い、大きくなった喜びを共に分かち合う。</li> <li>進級後の生活の仕方を知らせ、スムーズに新年度が迎えられようとする。</li> </ul>